

# 楽天・グローバル・インカム・ファンド (為替ヘッジあり) <ラップ向け>

追加型投信/内外/債券

## 交付運用報告書

第1期(決算日 2025年11月20日)

(作成対象期間 2024年12月20日~2025年11月20日)

### 受益者の皆様へ

平素は当ファンドにご投資いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは、このたび上記決算を行いました。当ファンドは、主にアイルランド籍円建て外国投資法人「グッゲンハイム・グローバル・インベストメンツ・ピーエルシー - グッゲンハイム・グローバル・インカム・ファンドクラスA (日本円ヘッジ)」への投資を通じて、主として世界の幅広い種類の公社債等およびそれらの派生商品等に投資を行いました。ここに当期間の運用状況につきまして、ご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

### 楽天投信投資顧問株式会社

<https://www.rakuten-toushin.co.jp/>

東京都港区南青山二丁目6番21号  
本資料(交付運用報告書)の記載内容のお問い合わせ先  
TEL: 03-6432-7746

受付時間: 営業日の午前9時から午後5時まで  
※お客様のお取引内容等につきましては販売会社にお問い合わせください。

**Rakuten** 楽天投信投資顧問

当期末	
基準価額	10,272円
純資産総額	1,139百万円
騰落率	2.7%
分配金合計	0円

(注)騰落率は分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記ホームページアドレスにアクセス

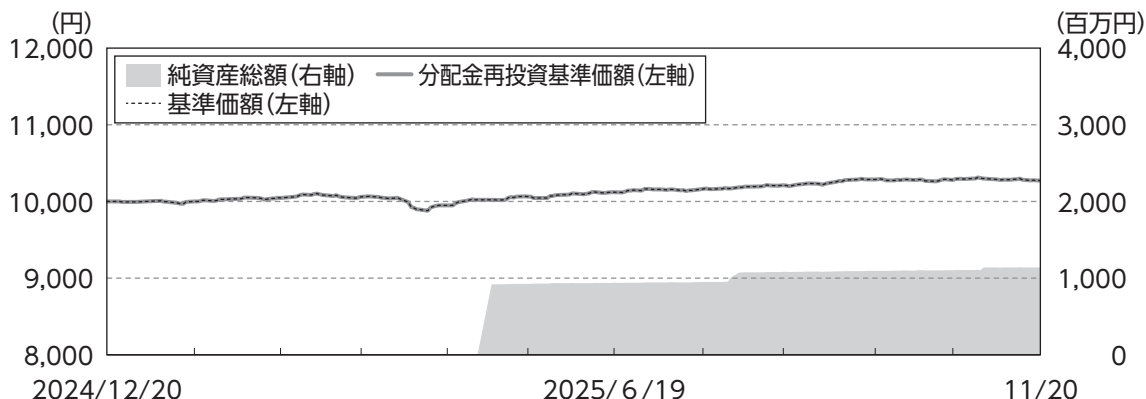
⇒「基準価額一覧」から当該ファンドを選択

⇒「運用報告書(全体版)」を選択し、閲覧およびダウンロード

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

# 運用経過の説明

## 1 基準価額等の推移



設定日：10,000円

期末：10,272円(既払分配金0円)

騰落率：2.7%(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、設定日の基準価額を起点として指数化しています。
- (注4) 設定日の基準価額には当初設定価額を、純資産総額には当初設定元本を用いています。

## 2 基準価額の主な変動要因

当ファンドは、外国投資信託証券「グッゲンハイム・グローバル・インベストメンツ・ピーエルシー - グッゲンハイム・グローバル・インカム・ファンド クラスA(日本円ヘッジ)」(以下、「主要投資先ファンド」)を主要投資対象とするため、主要投資先ファンドの価格変動が基準価額の主な変動要因となります。

当期の基準価額は、主要投資先ファンドの価格上昇を受けて、設定日比で上昇しました。

主要投資先ファンドでは、投資適格社債およびハイイールド債を中心とする社債セクターがパフォーマンスを牽引しました。信用スプレッド(国債利回りに対する上乗せ金利)は、一時的に大幅に拡大したものの、期末にかけて縮小し、パフォーマンスへの影響は限定的なものにとどまりました。一方、米国内国債利回りが短・中期を中心に低下したことが社債価格の上昇要因となったほか、社債セクターの相対的に高い利息収入もプラスに寄与し、良好なパフォーマンスとなりました。

### 3 1万口当たりの費用明細

項 目	当期		項 目 の 概 要
	2024年12月20日～2025年11月20日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	29円 (26) (1) (3)	0.289% (0.253) (0.010) (0.025)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は10,126円です。 ・委託した資金の運用の対価 ・購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 ・運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	－	－	(b) 売買委託手数料＝ $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	－	－	(c) 有価証券取引税＝ $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (印刷費用) (その他)	20 (－) (2) (18) (－)	0.200 (－) (0.024) (0.176) (－)	(d) その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・印刷費用は、有価証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成、印刷および提出等に係る費用 ・その他は、金銭信託への預入金額に対する手数料、その他投資信託財産の運営にかかる費用等
合 計	49	0.489	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

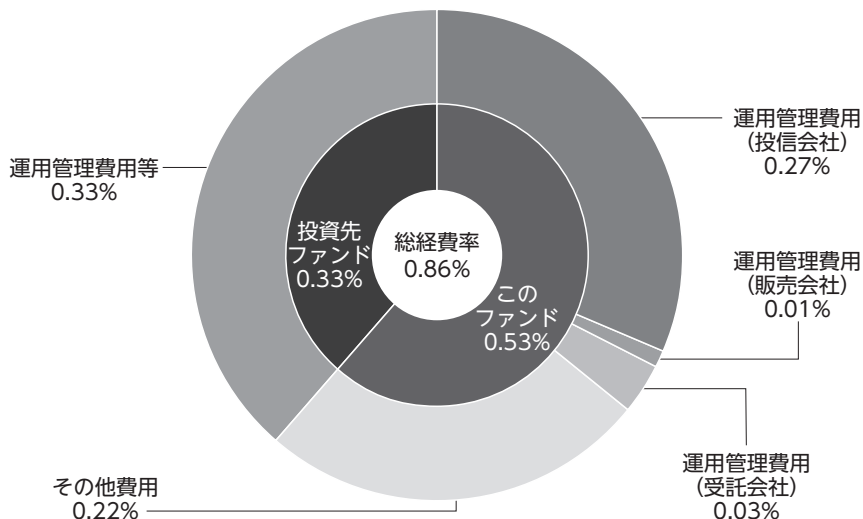
(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注5) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く)が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入ファンドの概要」に表示することとしております。

## ■ (参考情報) 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.86%です。



総経費率 (①+②)	0.86%
①このファンドの費用の比率	0.53%
②投資先ファンドの運用管理費用等の比率	0.33%

(注1) このファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) このファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) このファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

#### 4 最近5年間の基準価額等の推移

(2020年11月20日～2025年11月20日)



		2024年12月20日 設定日	2025年11月20日 決算日
基準価額	(円)	10,000	10,272
期間分配金合計(税込)	(円)	—	0
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	2.7
純資産総額	(百万円)	1	1,139

(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドの運用方針に対応する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

(注4) 分配金再投資基準価額は、2024年12月20日の基準価額を起点として指数化しています。

(注5) 設定日の基準価額には当初設定価額を、純資産総額には当初設定元本を用いています。

## 5 投資環境

米国国債市場では、長期金利が低下(債券価格は上昇)しました。長期金利は、期首から2025年1月中旬にかけては、FRB(米連邦準備制度理事会)パウエル議長の追加利下げに対する慎重姿勢などを背景に上昇したものの、米政権による関税政策に起因する景気減速懸念と株価の調整などを受けて、4月上旬にかけて大きく低下しました。その後8月中旬頃にかけては、関税交渉の進展や関税政策の実体経済への影響について不透明感が熾り続けるなか、もみ合う展開となりましたが、FRBによる追加利下げ観測の根強さや、米政府機関の一部閉鎖などを受けたリスク回避的な資金流入が下支えとなり、期末にかけて長期金利は緩やかに低下する展開となりました。また、政策金利動向の影響を受けやすい短期債や中期債においても大きな利回りの低下が見られました。

米国社債市場では、米政権の強硬な関税政策とその景気への影響に対する懸念から、信用スプレッドが一時大幅に拡大しました。しかし、堅調な米国株式市場の動向や投資家のリスク選好姿勢を背景に、概ね期首水準まで回復して期末を迎えました。

欧州国債市場では、ドイツなどの国防費増強に向けた財政拡張への懸念やユーロ圏経済見通しの改善などを背景に、主要国の長期金利は上昇(債券価格は下落)しました。

日本国債市場では、日銀による利上げ実施や根強い追加利上げ観測、高市政権下での財政拡張期待などを背景に、長期金利は大幅に上昇しました。

## 6 当ファンドのポートフォリオ

追加設定・解約による資金フローを鑑みながら、主要投資先ファンドの組入比率を高位に維持しました。

主要投資先ファンドでは、市場環境の変化に応じて、信用リスクへのエクスポージャーや債券セクターへの配分を機動的に調整しました。

## 7 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 8 分配金

運用の基本方針等を勘案し、収益分配は見送らせていただきました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

(1万口当たり・税込)

項 目	第1期
	2024年12月20日~2025年11月20日
当期分配金 (円)	—
(対基準価額比率) (%)	(—)
当期の収益 (円)	—
当期の収益以外 (円)	—
翌期繰越分配対象額 (円)	272

(注1)「対基準価額比率」は「当期分配金」の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2)「当期の収益」は経費控除後の配当等収益および経費控除後の有価証券売買等損益、「当期の収益以外」は収益調整金および分配準備積立金です。

(注3)「当期の収益」および「当期の収益以外」は、円未満を切捨てて表示しているため、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

引き続き主要投資先ファンドの組入比率を高位に維持する運用を行います。なお、投資信託財産の一部を、親投資信託である「楽天・国内マネー・マザーファンド」受益証券に投資します。

主要投資先ファンドでは、市場動向を踏まえ、信用リスクへのエクスポージャーや債券セクターへの配分を機動的に見直します。また、幅広い債券セクターに分散して投資することで、価格変動の抑制と下落局面でのリスク低減に努めます。

## お知らせ

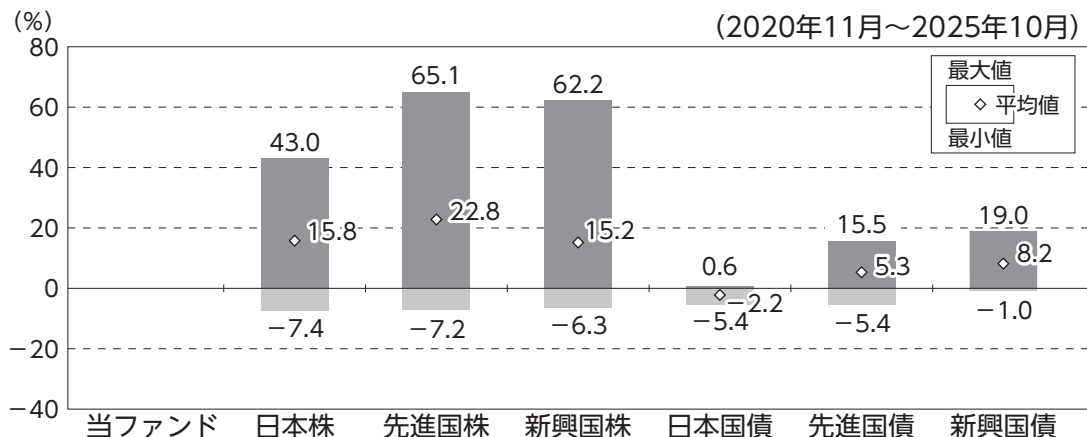
投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款へ所要の変更を行いました。  
(約款変更実施日：2025年4月1日)

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	無期限(2024年12月20日設定)
運用方針	投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	①主に投資信託証券への投資を通じて、主として世界の幅広い種類の公社債等およびそれらの派生商品等に投資を行います。なお、投資信託財産の一部を、親投資信託である「楽天・国内マネー・マザーファンド」の受益証券に投資します。 ②投資信託証券への投資割合は、原則として高位を維持することを基本とします。 ③投資信託証券において、原則として実質組入外貨建資産の対円での為替ヘッジを行います。
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益および売買益(評価損益を含みます。)等の全額とします。 収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。 留保益の運用については特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。

## ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注1)当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるよう、上記5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したもので、決算日に対応した数値とは異なります。

(注2)当ファンドは、設定日から基準日まで1年経過していないため、年間騰落率は記載していません。

(注3)すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの騰落率は以下の各指数の騰落率です。

日本株：S&P日本総合指数(トータル・リターン、円ベース)

先進国株：S&P先進国総合指数(除く日本、トータル・リターン、円換算ベース)

新興国株：S&P新興国総合指数(トータル・リターン、円換算ベース)

日本国債：ブルームバーグ・グローバル国債：日本インデックス(円ベース)

先進国債：ブルームバーグ・グローバル国債(日本除く)インデックス(円ベース)

新興国債：ブルームバーグ新興市場自国通貨建て高流動性国債インデックス(円ベース)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※上記各指数に関する知的財産権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。

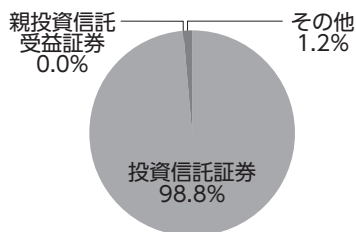
# 当ファンドのデータ

## 1 当ファンドの組入資産の内容

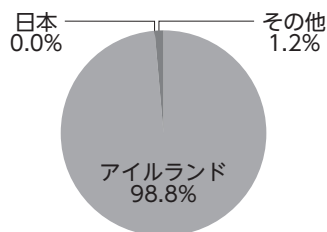
### ■組入ファンド

	当期末
グッゲンハイム・グローバル・インベストメンツ・ピーエルシー - グッゲンハイム・グローバル・インカム・ファンド クラスA(日本円ヘッジ)	98.8%
楽天・国内マネー・マザーファンド	0.0%
その他	1.2%
組入ファンド数	2

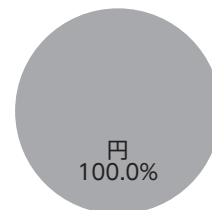
### ■資産別配分



### ■国別配分



### ■通貨別配分



(注1)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。  
 (注2)国別配分につきましては発行国を表示しております。

## 2 純資産等

項 目	第1期末
	2025年11月20日
純 資 産 総 額	1,139,157,449円
受 益 権 総 口 数	1,108,968,682口
1万口当たり基準価額	10,272円

※期中における追加設定元本額は1,157,284,863円、同解約元本額は49,316,181円です。

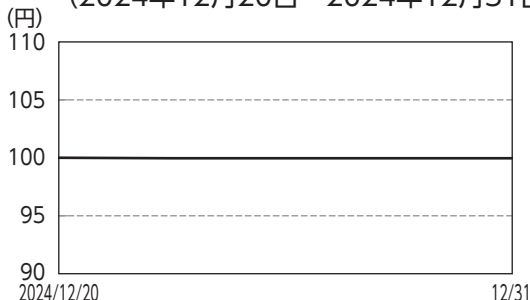
### 3 組入ファンドの概要

グッゲンハイム・グローバル・インベスツメント・ピーエルシー・グッゲンハイム・グローバル・インカム・ファンド クラスA(日本円ヘッジ)

運用経過等に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

#### ■基準価額の推移

(2024年12月20日～2024年12月31日)



#### ■1万口当たりの費用明細

当該情報が取得できないため記載しておりません。

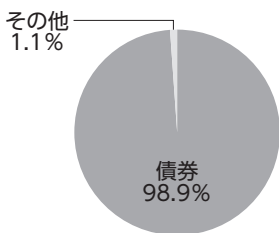
#### ■組入上位10銘柄

(2024年12月31日現在)

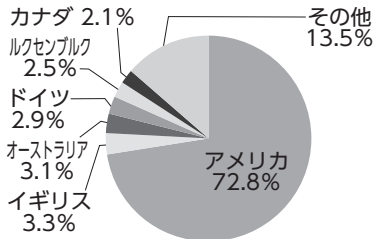
	銘柄名	国/地域	比率 %
1	VICOF 3 TERM LOAN FUNDED 4.00% 30/11/29	アメリカ	1.5
2	JPMAC 2006-WMC4 A2 4.61% 25/12/36	アメリカ	1.2
3	CERB 2023-5A B 7.86% 15/01/36	アメリカ	1.1
4	GCF 2024-7A B 7.77% 28/01/36	アメリカ	1.1
5	GLM 2021-9A DR 7.97% 20/04/37	アメリカ	1.1
6	CERB 2024-1A C 7.81% 15/04/36	アメリカ	1.1
7	OR 2024-16A C 7.92% 20/04/36	アメリカ	1.1
8	GOCAP 2019-46A CR 7.67% 20/04/37	アメリカ	1.1
9	FCBSL 2022-2A CR 7.23% 18/10/33	アメリカ	1.1
10	AASET 2024-1A A1 6.26% 16/05/49	アメリカ	1.0
	組入銘柄数		314

(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

#### ■資産別配分



#### ■国別配分



#### ■通貨別配分

当該情報が取得できないため記載しておりません。

(注1)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2)国別配分につきましては発行国を表示しております。

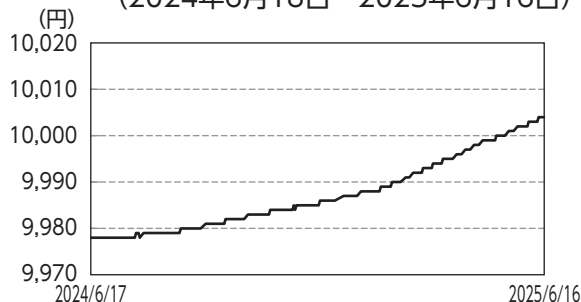
### 3 組入ファンドの概要

#### 楽天・国内マネー・マザーファンド

運用経過等に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

#### ■基準価額の推移

(2024年6月18日～2025年6月16日)



#### ■1万口当たりの費用明細

該当事項はありません。

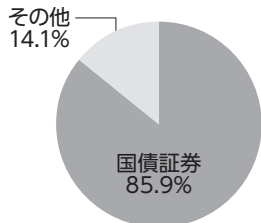
#### ■組入上位10銘柄

(2025年6月16日現在)

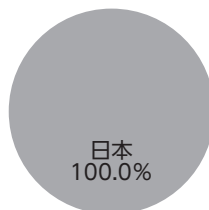
	銘柄名	発行国	比率 %
1	第1300回国庫短期証券	日本	85.9
2	—	—	—
3	—	—	—
4	—	—	—
5	—	—	—
6	—	—	—
7	—	—	—
8	—	—	—
9	—	—	—
10	—	—	—
組入銘柄数		1	

(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

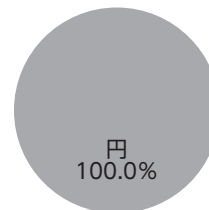
#### ■資産別配分



#### ■国別配分



#### ■通貨別配分



(注1)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2)国別配分につきましては発行国を表示しております。